

2007年10月3日

報道関係者 各位

日本初のカプセル内視鏡「ギブン画像診断システム」保険適用

ギブン・イメージング株式会社（東京都千代田区、取締役 社長 笈川 義徳）の小腸用カプセル内視鏡「ギブン画像診断システム」（承認番号：21900BZY00045000）が10月1日、保険適用となりました。

カプセルの保険償還価格は77,200円、技術料は区分D310小腸ファイバースコピー17,000円となります。

小腸用カプセル内視鏡「ギブン画像システム」は、2007年4月23日に薬事承認され、5月30日より販売を開始しております。今回の保険適用により、これまで以上に医療現場において広くご利用いただけ、日本の患者様に貢献できるものと期待しております。

小腸を観察するためのカプセル内視鏡「ギブン画像システム」の特徴は以下の通りです。

1. 従来の内視鏡ではみることが難しかった小腸全域の直接視覚化が可能となる。
2. 麻酔等の前処理やバリウム等の造影剤が不要で、大き目のビタミン剤サイズのカプセル（26mm×11mm）を飲み込むだけで検査が行えるため、患者様の肉体的苦痛がほとんどない。
3. 約8時間の検査時間中、患者様は病院内にいる必要がなく、通常の生活を行うことが出来ることから、患者様の負担が大幅に軽減される。
4. 高い病変検出率である。



保険収載日：2007年10月1日

販売開始日：2007年5月30日

保険償還価格：77,200円

ギブン・イメージング株式会社（NASDAQ: GIVN）について

ギブン・イメージング リミテッド (Given Imaging Ltd.)、丸紅株式会社、株式会社スズケンの合弁会社で、2002年、世界の非侵襲的な先端医療技術の提供を通して、日本の医療に貢献することを目的として設立された会社です。欧米で既に60万人以上の使用実績のあるカプセル内視鏡を広く普及させることにより、日本の医療現場や患者様への貢献を目指しています。日本における総販売代理店は株式会社スズケンとなります。